

Qualifying &
Life Member



MDRT®

オフィス **ASADA**

代表 麻田 春江

茨城県取手市井野台 1-7-28 〒302-0015
T E L : 0297-72-2401 FAX : 0297-72-6217
携 帯 : 090-8720-8591
E-mail : officeasada_h@ybb.ne.jp
U R L : http://www.officeasada.com



平成 24 年 12 月 第 38 号

オフィスASADA通信のご案内

皆さま、お元気でいらっしゃいますか。

月日の経つのは早いものです。あっという間に **12 月**になってしまいました。一年が猛スピードで駆け抜けたような気がします。皆様も、いろいろな**ドラマ**があった一年だったと思います。今月は**各分野でご活躍されていらっしゃる素晴らしい方々**をご紹介します。全て私が出会い、**縁**を作らせて頂いた方々です。**新年**が直ぐそこですね。どうぞ、お元気で**新しい年**をお迎え下さい。(来年のカレンダーを同封しました)

《 今年 出会った素晴らしい人たち 》

- ◆ 工藤 進英 医学博士・大腸内視鏡専門医 ◆ 畑中 映理子 NLP トレーナー
- ◆ 弦本 将裕 個性心理学研究所所長・元祖動物占い発案者
- ◆ 対馬 ルリ子 医学博士・産婦人科医師 ◆ 池川 明 産婦人科医師・胎内記憶研究者

◆ 工藤 進英 医学博士・大腸内視鏡専門医

1947 年秋田県生まれ。73 年新潟大学医学部を卒業後、同大外科で勤務。
85 年に秋田赤十字病院外科に赴任し、同年に「**幻のがん**」と呼ばれていた**陥凹(かんおう)型大腸がん**を発見。以後、膨大な症例の研究によってその存在を世界に認めさせました。
2000 年昭和大学教授、昭和大学横浜市北部病院消化器センター長に就任。
2001 年昭和大学横浜市北部病院副院長を兼務。
著書に「大腸ガンで死なせない」などがあります。



NHK 番組：**プロフェッショナル 仕事の流儀**でも紹介されましたが、大腸内視鏡を切り開いた医師で「**神の目を持つ男**」「**神の左手**」とも言われている先生です。ガンの進行度を見極め最善の治療方法を見出す世界でも指折りの**ガン治療のエキスパート**です。30 年間で 13 万件の内視鏡検査は世界トップクラス。同センターでは科目の枠組みを撤廃し、内科医と外科医が一体で診療して総合的な対応が出来る体制を確立しています。世界各国から集まる後進の指導に尽力すると共に、通算 150 回を越える海外講演を行っています。平均わずか **5 分で検査を終えてしまう**ことから、「**内視鏡ゴッドハンド**」として世界的な名声を誇っています。
(私も先生に内視鏡検査をして頂きました、もちろん無痛です)

◆ 畑中 映理子 NLP トレーナー

横浜元町アトリエ CHARM オーナー NLP トレーナー 関西大学文学部英文科卒業
家族システムコーチング・エニアグラム・その他カウンセリング。

《**NLP = Neuro - Linguistic Programming** : 神経言語プログラミング》とは、70 年代にアメリカで心理学者のリチャード・バンドラーと、言語学者ジョン・グリンダーによって開発されたテクニックで、**物事が見事に達成し成功したり、困難や病気から完全に回復した人々の心や思考の仕組みを研究することから生まれた手法**です。

人間の能力は不変のものではなく、学んだり身につけたりするものだと考え、誰もが**問題の解決の鍵**を見つけたり、**人との関係を自分が望むように、円滑にしていける**ことができると考えられています。スポーツ選手のイメージトレーニング、恐怖症やトラウマへの対処、心や身体の悩み
の解決、習慣の改善、人との信頼関係や、よりよいコミュニケーションの築きかたなど、あらゆる分野で用いられています。**この NLP トレーナーとして、今まで多くの人を助けています。(私、現在 NLP を勉強中です)**



◆ 弦本 将裕 個性心理學研究所所長・元祖動物占い発案者



個性心理學研究所所長 教授 NHK 学園講師 中小企業大学講師
日本学校メンタルヘルス学会会員 学習院個性心理學桜友会代表幹事
著書に「個性心理學 動物キャラナビ」他多数あります。

『個性心理學』は、個性心理學研究所所長 弦本将裕氏が世界で始めて人間の個性をあらゆる角度から検証し12匹の動物キャラクターに当てはめ、さらに60分類に進化させることで誰にでも分かる心理学として確立させた学問です。書籍は日本のみならず英語版、中国語版、フィンランド語版も広く海外で発売されています。日本の大手企業や海外の有名な企業も社員教育に導入しています。

今、なぜこのような「心」の問題を研究する学問が注目され、『個性心理學』が脚光を浴びているのでしょうか？それは大きな時代の転換期を迎え、これまでの価値観が通用しなくなった現在、ますます複雑になる社会環境及び人間関係に起因するストレスに人々が悩まされ、耐えられなくなってしまったからです。

「真にストレスのない社会づくりに貢献する」これが個性心理學なのです (私、認定講師の資格を取りました)

◆ 対馬 ルリ子 医学博士・産婦人科医師

日本産婦人科学会認定医 母体保護法指定医 日本思春期学会理事
日本性感感染症学会評議員 NPO 法人女性医療ネットワーク代表理事

1984年に東京大学医学部産婦人科学教室入局・都立墨東病院総合周産期センター産婦人科医長・女性のための生涯医療センター初代所長を経て、2002年にウィミンズ・ウェルネス銀座クリニックを開院。全国600名の女性医師・女性医療者と連携し、女性の生涯にわたる健康のための情報提供、啓発活動等を活発に行っている。



女性なら、何かあったときにはいつでも相談できる「私のかかりつけ医」がほしいと思うのではないのでしょうか？

対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座（通称ジュノ）は、女性外来として一生涯の健康を支援するためにできました。健康とは「からだところと生活が、自分らしく統合された快適な状態であること」が先生の持論です。女性医療の専門家として心から信頼できる先生です。

現在、診療で多忙な中、講演やテレビ出演、著書も多数ありマスコミでも有名です。著書に「40歳からの女性ホルモンの高め方」などがあります。「女性の健康学校 ジョイ・ラボ」を開校。 (私、現在受講生です)

◆ 池川 明 産婦人科医師・胎内記憶研究者

1954年東京都生まれ。帝京大学医学部大学院卒。医学博士。上尾中央総合病院産婦人科部長を経て、1989年横浜市に産婦人科の池川クリニックを開院。年間約100件の出産を扱い現在に至る。2001年9月、全国の保険医で構成する保団連医療研究集会で『胎内記憶』について発表し、それが新聞で紹介され話題となりました。先生はお産を通して、豊かな人生を送ることができるようになることを目指しています。



『胎内記憶』とは、生まれる前・お腹にいる時・生まれた直後をいいます。産婦人科の池川先生の、長年にわたる聞きとりの調査とお母さんやお子さんの協力で、次第に明らかになってきました。“お母さんのおなかの中にいたときのこと”や、それよりも前に“空からお母さんを見ていたこと”などが、子どもたちの言葉で語られるのを知ると…とても神秘的な「母子の絆」を強く感じます。

赤ちゃんは、お母さんに伝えたいことがたくさんあります。なぜ生まれてきたのか、どんな風にやってきたのか…。これからお母さんになる人だけではなく、すべての人へのメッセージです。著書に「おぼえているよ。ママのおなかの中にいたときのこと」など多数あります。現在診療の合間を縫っての講演に引っ張りダコです。

(来年1月にメットライフアリコ・代理店会総会の記念講演を依頼しています)

***** イケメンも 飼い慣らされて 今イクメン *****サラリーマン川柳より

この記事をお読みになった方でもっと詳しいことをお知りになりたい方、又はこの先生方の紹介をご希望の方は、麻田までご連絡を下さい。